

もくじ 2年生

はなまるリトルの使い方	1
① たし算(1)	2
② ひき算(1)	6
③ 1000までの数	10
④ 数の大小	14
⑤ 長さ(1)	18
⑥ たし算(2)	22
⑦ かさ	26
⑧ たし算(3)	30
⑨ 時こくと時間	32
⑩ まとめ(1)	34
⑪ ひき算(2)	36
⑫ 3つの数の計算	40
⑬ 長さ(2)	42
⑭ かけ算(1)	44
⑮ かけ算(2)	48
⑯ まとめ(2)	52
⑰ 三角形と四角形	54
⑱ 10000までの数	58
⑲ はこの形	62
⑳ まとめ(3)	64
計算ドリルの使い方	67
● たし算①	68
● ひき算①	69
● たし算とひき算	70
● 1000までの数	71
● 長さ①	72
● かさ	73
● たし算②	74
● たし算③	75
● ひき算②	76
● ひき算③	77
● 3つの数の計算	78
● 長さ②	79
● かけ算①	80
● かけ算②	81
● かけ算③	82
● かけ算④	83
● かけ算⑤	84
● かけ算⑥	85
● 10000までの数①	86
● 10000までの数②	87

はなまるリトル 2年生 算数

はじめに

四谷大塚では、小学校6年間を通して優秀児を育てる教育を行っています。その中で、1～3年生を知能開発期と位置づけ、各教科の学習を通して知能を伸ばすことを目的に通信教育「リトルくらぶ」を平成8年4月からスタートしました。子どもの興味・関心・集中力を育み、考える力を伸ばすことがその基本方針です。しかし、知能開発を行う前提として、教科書の内容をしっかりと理解しているかが大変重要になってくることはいうまでもありません。

『はなまるリトル』は、各教科の内容をご家庭で効果的に学習でき、さらに自然に知能開発ができるように構成されています。ぜひ、本書の特色をご理解の上、ご家庭での学習に役立ていただき、お子様を「勉強もできる子ども」に育ててください。

この本の特色

この本は、小学校2年生で学習する算数の内容を、基本から応用まで幅広く取り上げています。カリキュラムは学習指導要領をもとにして作成されているので、教科書にあわせてもご利用いただけます。

教科書の学習内容の定着と確認ができ、さらにそれらの考え方や技能を使ってより高度な問題を考えさせることで、算数学習の理解を深め、算数のイメージを広げることを目的に構成されています。

日常生活でも算数を連想できるように身近な題材を多く取り上げたり、根気を要する問題や難問はゲーム感覚で楽しく取り組めるようにするといった工夫がされています。

また、算数の基礎として重要な計算力をつけさせるための「計算ドリル」が後半にまとめられています。繰り返し学習することで、計算力が身につきます。

この本の使い方～おうちの方へ

- きほんもんだい：** ●単元の基本となる内容の理解とその確認をします。
予習のときに、教科書とあわせて学習しましょう。
また、理解度の確認としても使用することができます。
- ★基本となる重要な問題ばかりですから、必ずマスターさせましょう。
 - ★単元によっては、その単元の学習につながる1年生の内容や2年生の既習内容をのせている場合もあります。
- れんしゅうもんだい：** ●大切な考え方や、技能を様々な問題を通して練習し、定着を図ります。
学習内容を復習するときに使用し、基礎学力を確かなものにしましょう。
- ★代表的な文章問題や、注意させたい問題を取り上げています。
しっかり考えさせ、理解させましょう。
- わくわくもんだい：** ●知能を刺激する教材にゲーム感覚で取り組みます。
「れんしゅうもんだい」と同時期に使用しましょう。
新鮮な頭で考えさせ、思考を柔軟にすることが目的です。
- ★算数のイメージを楽しいものにさせるため、考える過程をより大切にし、じっくり取り組ませましょう。
- はってんもんだい：** ●単元内容を応用した問題です。発想を転換して難問に挑戦します。
その単元を十分理解してから取り組みましょう。
- ★教科書レベルをこえた高度な問題も出題されています。
難問にも挑戦できる意欲を持たせましょう。
自力で解けない場合は、おうちの方がヒントを与えてあげたり、一緒に取り組んであげましょう。
- 計算ドリル：** ●計算を素早く確実にできるようにします。
復習として何度も活用しましょう。
- ★まずミスなく計算できるようにさせ、次にスピードを意識させましょう。
 - *詳しくは「計算ドリルの使い方」をご覧ください。

●おうちの方は、お子様が問題をやり終えたら、解答・解説を見てチェックをしてあげましょう。解答・解説には、お子様が間違えやすいところの指導方法や、必ずマスターしておく重要ポイントなどがわかりやすく説明されています。

チェックが終わったら、間違えたところはもう一度取り組みせ、自力で取り組めない場合はおうちの方がヒントを出したり、説明をしてあげてください。このことで、お子様は算数の学習の仕方を自然に身につけ、高学年では自学自習できるように育っていきます。

学校で使用している教科書によっては、各単元の学習順が前後する場合がありますので、もくじでご確認の上、注意してご使用ください。

きほんもんだい

1 つぎの 計算を あん算で しましょう。

1 $30 + 8$

2 $70 + 3$

3 $50 + 20$

4 $40 + 60$

5 $24 + 5$

6 $82 + 6$

7 $47 + 2$

8 $63 + 4$

2 つぎの 計算を しましょう。

1
$$\begin{array}{r} 42 \\ + 11 \\ \hline \end{array}$$

2
$$\begin{array}{r} 28 \\ + 12 \\ \hline \end{array}$$

3
$$\begin{array}{r} 14 \\ + 37 \\ \hline \end{array}$$

4
$$\begin{array}{r} 16 \\ + 79 \\ \hline \end{array}$$

5
$$\begin{array}{r} 14 \\ + 37 \\ \hline \end{array}$$

6
$$\begin{array}{r} 58 \\ + 26 \\ \hline \end{array}$$

7
$$\begin{array}{r} 63 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$$

8
$$\begin{array}{r} 5 \\ + 26 \\ \hline \end{array}$$

3 よつや小学校の 2年2組は、男の子が 16人、女の子が 18人です。
みんなて 何人ですか。



ひっ算

答え _____ 人

れんしゅうもんだい

① 計算した 答えが 同じに なる ものを、線で むすびましょう。

$$\begin{array}{r} 34+18 \\ \cdot \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 35+16 \\ \cdot \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 48+5 \\ \cdot \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 46+14 \\ \cdot \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 27+33 \\ \cdot \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8+43 \\ \cdot \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 27+25 \\ \cdot \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 16+37 \\ \cdot \end{array}$$

② つぎの もんだいに 答えましょう。

① ぼくは、48円 もって います。妹は、35円 もって います。
2人 あわせると、いくらに なりますか。



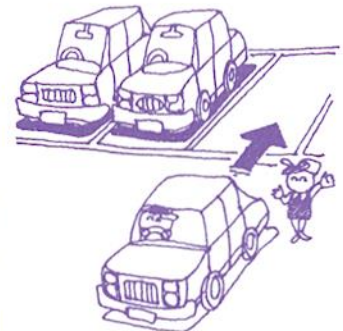
ひっ算

答え _____

② ちゅう車場に 車が 34台 とまって います。7台 はいって くと、
何台に なりますか。



ひっ算

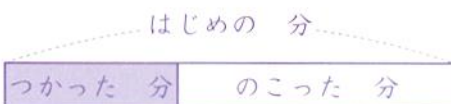


答え _____

③ おり紙を 17まい つかいました。まだ、26まい のこって います。
はじめに 何まい もって いましたか。



ひっ算



答え _____

わくわくもんだい

あんごうたし算

●ゲームのしかた

- ① 下の ①から ⑪までの たし算の 答えを もとめます。
 - ② その 答えと あんごうひょうを つかって、あてはまる ひらがなを 見つけ、下の あんごう文を かんせいさせましょう。
- れい を よく 見て、あんごうの きまりを 見つけましょう。

あんごうひょう

一の位 十の位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0, 5	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
1, 6	い	き	し	ち	に	ひ	み		り	
2, 7	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る	
3, 8	え	け	せ	て	ね	へ	め		れ	
4, 9	お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	

- | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|---|--|--|---|--|
| ①
$\begin{array}{r} 27 \\ + 33 \\ \hline 60 \end{array}$ | ②
$\begin{array}{r} 23 \\ + 40 \\ \hline \end{array}$ | ③
$\begin{array}{r} 26 \\ + 18 \\ \hline \end{array}$ | ④
$\begin{array}{r} 29 \\ + 29 \\ \hline \end{array}$ | ⑤
$\begin{array}{r} 54 \\ + 6 \\ \hline \end{array}$ | ⑥
$\begin{array}{r} 17 \\ + 34 \\ \hline \end{array}$ | ⑦
$\begin{array}{r} 9 \\ + 49 \\ \hline \end{array}$ | ⑧
$\begin{array}{r} 20 \\ + 35 \\ \hline \end{array}$ | ⑨
$\begin{array}{r} 25 \\ + 37 \\ \hline \end{array}$ | ⑩
$\begin{array}{r} 28 \\ + 8 \\ \hline \end{array}$ | ⑪
$\begin{array}{r} 59 \\ + 19 \\ \hline \end{array}$ |
|---|--|--|--|---|--|---|--|--|---|--|

《あんごう文》

ひっ算は、

れい	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
い									、		

ように！

はってんもんだい

① たて、よこ、ななめの 数を たすと、どこも
 答えが 同じに なる ものを まほうじんと
 いいます。つぎの 数を それぞれ 1回ずつ
 つかって、まほうじんを つくりましょう。

れい

2	7	6
9	5	1
4	3	8

① 6から 14までの 数

11		13
	10	
		9

② 1から 25までの 数

9	2		18	11
3	21			10
22		13	6	4
16		7	5	23
15	8	1	24	

② 虫に 食べられて わからなく なった 数を 書きましょう。

①

$$\begin{array}{r} 42 \\ + \\ \hline 57 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 7 \\ + 3 \\ \hline 58 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 6 \\ + 3 \\ \hline 98 \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 2 \\ + 9 \\ \hline 43 \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 4 \\ + 2 \\ \hline 62 \end{array}$$

⑥

$$\begin{array}{r} 6 \\ + 2 \\ \hline 80 \end{array}$$

きほんもんだい

① つぎの 計算を あん算で しましょう。

① $47-7$

② $64-60$

③ $80-30$

④ $90-50$

⑤ $46-3$

⑥ $98-7$

⑦ $77-4$

⑧ $39-6$

② つぎの 計算を しましょう。

①
$$\begin{array}{r} 38 \\ -14 \\ \hline \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 40 \\ -18 \\ \hline \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 64 \\ -37 \\ \hline \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 55 \\ -29 \\ \hline \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 42 \\ -37 \\ \hline \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 58 \\ -49 \\ \hline \end{array}$$

⑦
$$\begin{array}{r} 23 \\ -6 \\ \hline \end{array}$$

⑧
$$\begin{array}{r} 32 \\ -7 \\ \hline \end{array}$$

③ じゅん子さんは、シールを 32まい もって います。妹に 15まい あげると、のこりは 何まいに なりますか。



ひっ算

答え _____ まい

おうちの方へ

「はなまるリトル」の「計算ドリル」は、算数学習の中でも繰り返しの練習を必要とする計算問題に焦点を絞り作成されています。

この「計算ドリル」を有効に活用することで、算数の基本的な力をつけ、自信をつけさせてください。数多くの問題を解くことで、自然と計算のきまりや、計算方法が理解できるようになります。

計算ドリルの特色

この計算ドリルは、「はなまるリトル」のカリキュラムをもとに作られています。また1年間の算数学習を見通して、重要となる計算問題や、必ずマスターしてもらいたい計算問題などを取り上げています。

繰り返し使えるように、各ページの右上に「実施日」を書き込む欄を3回分作りました。その問題を解くために必要とした時間と、正答した問題数を書き込む欄もあります。

おうちの方が記入してあげることで、お子様の計算力の確認ができます。同時にお子様への応援の機会に利用してください。

計算ドリルの使い方

- ① 1ページが1回分です。実施日を記入し、時間を計ってあげましょう。
- ② 解き終わったら、かかった時間を記入し、答え合わせをしてあげましょう。
- ③ 正答した問題数を記入しましょう。
- ④ 解けなかった問題や、間違えた問題は、必ずもう一度やらせてみましょう。これにより、計算の力がつきます。

*繰り返し使うので本紙に答えを書き込ませず、別なノートを用意すると便利です。

2回目以降に注意すること

●まずは、スピードを上げることよりも、間違えずに計算できるようになることに重点をおかせましょう。前回までに間違えた問題は特に注意して取り組ませてください。

●全問正解できるようになったら、時間を意識させてスピードをつけさせましょう。(ページによって、問題量や難易度が全く同じではありませんから、前回までより早くなったことを評価してあげましょう。目安としては、1ページ10分以内で全問正解できれば十分でしょう。)

◎学校の予習・復習に活用したり、「はなまるリトル」の学習のあとの総仕上げとして活用してください。また、学期ごとの計算力の確認や、学年の総復習としても適しています。

◎「はなまるリトル」のここまでの内容との「対照表」を利用してください。文章問題や発展問題と並行して学習させることで、学習内容の深い理解と定着につながりません。

たし算 ①

はなまるリトル 算数 2年生

	実施日	時間	正答数
1	月 日	分	/20
2	月 日	分	/20
3	月 日	分	/20

① つぎの 計算を しましょう。

$$\begin{array}{r} ① \quad 33 \\ + 21 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ② \quad 25 \\ + 54 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ③ \quad 30 \\ + 47 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ④ \quad 83 \\ + 6 \\ \hline \end{array}$$

② つぎの 計算を しましょう。

$$\begin{array}{r} ① \quad 29 \\ + 15 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ② \quad 18 \\ + 54 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ③ \quad 43 \\ + 19 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ④ \quad 39 \\ + 48 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑤ \quad 37 \\ + 37 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑥ \quad 45 \\ + 25 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑦ \quad 31 \\ + 19 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑧ \quad 27 \\ + 68 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑨ \quad 33 \\ + 28 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑩ \quad 48 \\ + 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑪ \quad 7 \\ + 54 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑫ \quad 82 \\ + 8 \\ \hline \end{array}$$

③ つぎの たし算を ひっ算で しましょう。

① $38 + 47$

ひっ算

② $26 + 54$

ひっ算

③ $69 + 6$

ひっ算

④ $5 + 37$

ひっ算